

再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名 一般国道47号 <small>たかや</small> 高屋道路	事業区分	一般国道 事業主体 国土交通省 東北地方整備局	
起終点 自： <small>やまがた もがみ とざわ ふるくち</small> 山形県最上郡戸沢村大字古口 至： <small>やまがた もがみ とざわ ふるくち</small> 山形県最上郡戸沢村大字古口	延長	3.4 km	
事業概要 新庄酒田道路は、新庄市から酒田市に至る約50kmの地域高規格道路である。 高屋道路は、新庄酒田道路の一部を形成し、災害危険箇所の回避や冬期交通障害の解消を目的とした延長約3.4kmの事業である。			
H18年度事業化	ー 都市計画決定	H22年度用地着手	H25年度工事着手
全体事業費	147億円	事業進捗率	30%
		供用済延長	ー km
地域の防災面の課題 ・現道の国道47号では事前通行規制区間（連続雨量150mm以上）が存在。また自然災害等による全面通行止めは過去30年間で51回発生。 ・周辺に代替路線がなく、災害等による通行止が発生した場合、迂回に要する距離は通常期の約3倍を要する。 ・線形不良箇所が多数存在し、特に冬期における交通事故は通常期の約3倍と多発。 ・このため、戸沢村の日常生活を営む上で重大な障害及び不安要素となっており、地元自治体等からも改善の要望も出されているなど地域の喫緊の課題となっている。			
課題を踏まえた対策・事業内容 ・事前通行規制区間縮小のため、約3km区間を別線整備。 ・全線で現道対策を行う場合、大規模な法面对策、現道嵩上げ、線形改良工事などが必要となることから別線による整備とした。			
事業の効果等 ①災害等による迂回解消を含めた走行時間の短縮等 （217億円（残事業=217億円）） ②災害への備え ・現道等の防災点検要対策3箇所等が解消される。 ③高次救急医療施設へのアクセス性向上 ・新庄市から日本海総合病院（現況64分⇒整備後63分）へのアクセス向上が見込まれる。		費用 （残事業）/（事業全体） 90/148億円 〔事業費：77/134億円 維持管理費：14/14億円〕	
関係する地方公共団体等の意見 ○山形県知事の意見 「対応方針（原案）」案のとおり、事業継続について同意します。 一般国道47号高屋道路は、格子状骨格道路ネットワークを形成する重要な路線であります。本路線は、災害時の広域的代替機能の強化や救急医療への対応はもとより、産業、経済、観光の振興を図るためにも極めて重要で必要不可欠であります。特に、コンテナ貨物の急増や大型クルーズ船の誘致が進む酒田港の利活用においては、大きな役割を担うものであります。 また、本県では、「やまがた創生総合戦略」や「山形県道路中期計画」において“高速道路・地域高規格道路の整備”の重要性について盛り込んでおり、早期完成を目指すとともに、供用目標を明らかにし、着実な予算の確保と併せ、一般国道47号において事前通行規制区間の解消に不可欠な、本区間前後区間の早期事業化についてもお願いします。			
○以下の団体等から高屋道路の整備促進について要望あり ・国道47号・新庄酒田道路地域高規格道路整備促進期成同盟会 ・大蔵村長 ・山形地区国道協議会			
事業評価監視委員会の意見 対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。			

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成22年度に工事着手して、用地進捗率61%、事業進捗率30%となっている。
- ・残事業の内容（トンネルL=3km等）。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・引き続き、早期完成に向けて事業を進める。

施設の構造や工法の変更等

- ・猪ノ鼻トンネル路側側溝を見直すことによるコスト縮減。

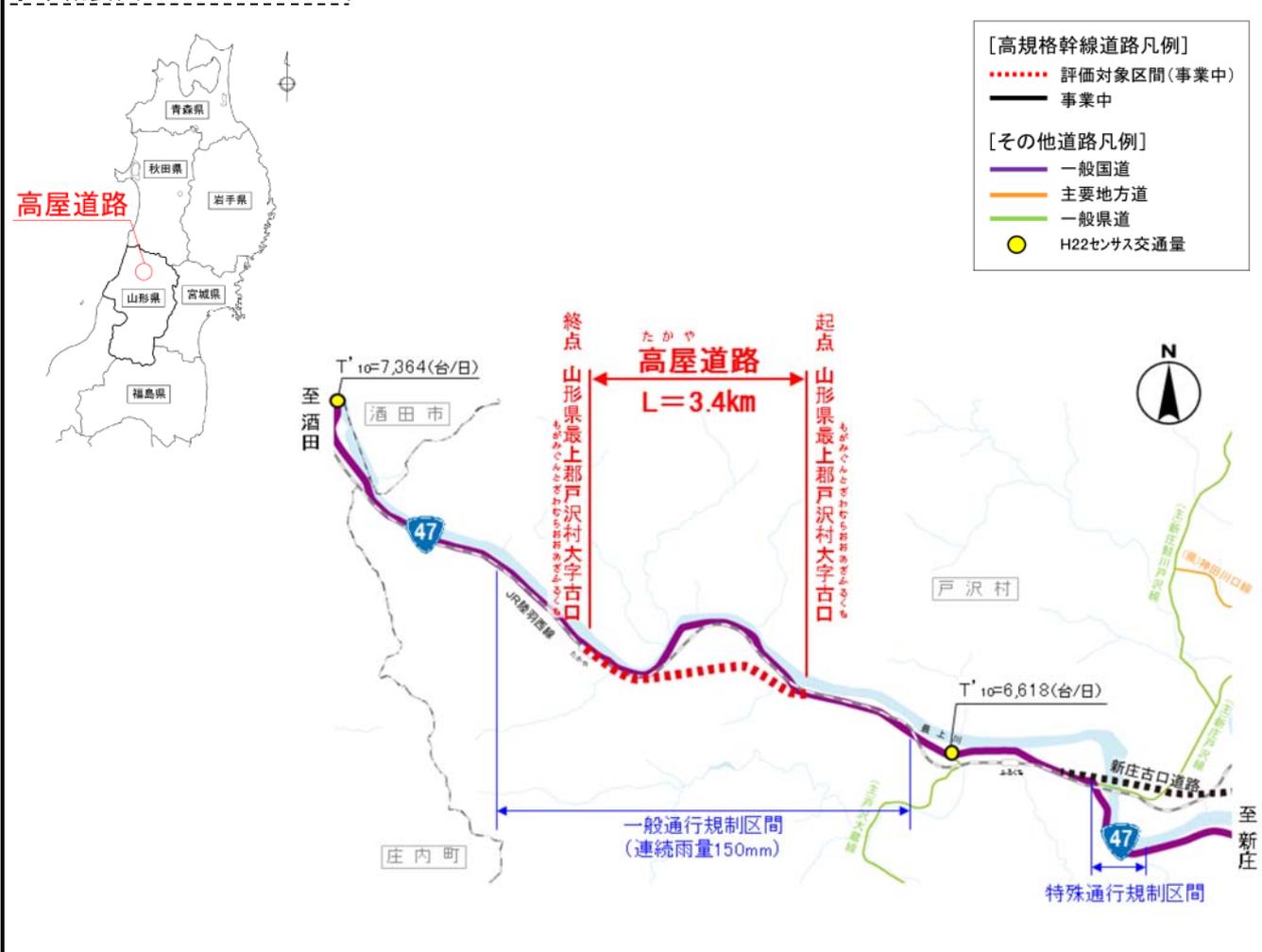
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性は変化なく、防災面の効果が見込まれるため。

事業概要図



- ※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。
- ※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。